

◆二〇〇四年外国人学生のための進学説明会実施概要

主 催：独立行政法人日本学生支援機構
 協 力：日本語教育振興協会

【大阪会場】

開催日時：平成一六年八月二九日(日)一〇：〇〇～一六：〇〇
 会 場：マイドームおおさか三階展示ホール(大阪市中央区)
 参加機関：一六大学・短大及び二機関(前回一三大学・短大及び二機関)

来場者数：一、三〇七名(前回一、二九二名)

【東京会場】

開催日時：平成一六年九月五日(日)一〇：〇〇～一六：〇〇
 会 場：サンシャインシティ文化会館二階展示ホールD
 (東京都豊島区)

参加機関：一八〇大学・短大及び二機関(前回一八九大学・短大及び二機関)

来場者数：三、九六七名(前回四、三二七名)

本進学説明会では、外国人進学希望者が、各大学・短期大学が個々に実施している留学生特別入試情報の詳細を入手できるような、参加大学の教員、入試担当者による、個別相談を行っている。進学を希望する外国人学生や彼らを指導する日本語教育機関の教職員にとっては、入試の最新情報を入手できると共に、疑問点等を直接担当者に聞くことができる大変



熱心に相談する学生たち(東京会場)

貴重な機会である。会場には、各参加大学・短期大学の個別相談ブースのほか、全国専修学校各種学校総連合会による専門学校コーナー、国際教育交換協議会(CIEE)によるTOEFLコーナー、中国、台湾、韓国等の現役大学生の先輩による体験談・アドバイスをを行う留学生会コーナー、本機構作成の印刷物及び資料の配布を行う無料資料コーナー等を設置した。今回の来場者数は大阪で微増、東京で一割程度の減となった。

開始時間前にはよりよい情報を求め、数百人の学生が列をつくり、午前中から熱心に相談する姿が見られた。

また、学生に混じって、日本語教育機関の教職員の姿も多く見受けられ、本説明会が進路指導の一端として定着してきたことが窺える。

なお、本説明会は、本機構の実施する日本留学に関連する最大規模の説明会となっている。



ブースでにぎわう大学来場者(大阪会場)

◆二〇〇四年日本留学フェア(大学間交流促進プログラム：欧州)

主 催：独立行政法人日本学生支援機構
 後 援：在イタリア日本国総領事館

協 力：E A I E : European Association of International Educators

開催日時：平成一六年九月一六日(木)～九月一八日(土)
 開催都市：会場：イタリア(トリノ)・Lingotto Conference Centre
 参加機関：二三大学(六国立大学法人、七私立大学)

日本留学フェア(大学間交流促進プログラム：欧州)は、E A I E 年次総会に参加する大学関係団体等を対象に、年次総会参加機関との間の大学間の交流を促進することを主な目的として実施している。E A I E 年次総会では、ブース展示会場における広報、セッション、ワークショップが行われる。本機構では、参加機関とともに「STUDY in JAPAN」としてブースを出展し、日本の大学との学生交流を望む、ヨーロッパ諸国をはじめとする世界各国の大学担当者等を対し、広報活動を行う。

来訪者からは、例年、大学交流協定の締結の方法や可能性の有無、英語によるプログラムやビジネス専攻のコース、奨学金、日本の教育制度等についての質問が寄せられている。

◆二〇〇四年日本留学フェア(韓国)

主 催：独立行政法人日本学生支援機構、韓国日本留学者聯合会、韓日協会、釜山韓日交流センター

後 援：在大韓民国日本国大使館、在釜山日本国総領事館
 開催都市：韓国(釜山・ソウル)

参加大学：七三大学(二国立大学法人、二天大、四七私立大学)
 釜山会場 Hotel Lotte Busan
 開催日時：平成一六年九月一〇日(金)一二：〇〇～一九：〇〇
 ソウル会場 Central City
 開催日時：平成一六年九月一二日(日)一一：〇〇～一八：〇〇

日本留学フェア(韓国)は、平成二年以来九回目の開催となる。また、平成一四年以来四年連続で、日・専フェアと同時に開催を行うことになった。大学七三機関、日本語教育機関及び専門学校七一機関の参加があり、本機構が海外で行う日本留学フェアの中では最大規模となっている。

昨年実施した折に参加者に伺ったところ、来場者の特徴として、漠然とした質問ではなく、かなり具体的な質問をする学生が今まで以上に増えてきているようであり、来場者の質の向上が見受けられる。来場者からは、社会福祉系、金属工芸系、観光系、広告・デザイン・アニメーション関連の学部についての質問や、大学への編入制度について、大学のランキング、在留資格の問題、高校生の留学の可能性について等の質問が多く寄せられている。